

2025（令和7）年度 活動報告

2025（令和7）年度は、新型コロナウイルス感染症の制限緩和3年目となり、五常夏祭りをはじめ、四季を楽しむ行事を、コロナ禍以前のように地域の皆さまの協力を得て、開催することができました。

主な活動内容は下記のとおりです。

活動方針

- 1 五常の四季を楽しみ、安心安全なまちづくり
- 2 地域の環境問題及び交通問題等への対応
- 3 地域力向上のための人材育成

主な活動内容

1 安全部門の充実（自主防災会、防犯協議会、交通対策協議会）

自治会や地域の皆様の協力をいただき、地域の安心安全を向上させる取り組みを行いました。

（1）自主防災会

自主防災会は地域の防災・減災能力の向上を目指して防災会議（防災研修会）を3回（6月、9月、2月）開催し、地震防災に関する啓発DVDによる研修、枚方市防災マップの読み方、避難所で使用する簡易ベッドやパーティションの組立体験及び総合防災訓練の打ち合わせなどを実施しました。



巨大地震への備えを、DVDで学習



パーティションの組立実習

また、コミュニティ協議会と共催の第23回防災フェスティバル（総合防災訓練）を2026（令和8）年2月15日に開催しました。昨年に引き続き地震体験車で過去の地震の揺れや、煙の中を避難する体験をしていただくとともに、水消火器を使った初期消火訓練、毛布とステンレス製のポールを使った応急担架の作り方と使い方、

心臓マッサージや AED を使う救命救急について学び、地域の防災力の向上を進めることができました。



現在、震度7体験中



イザ！煙の中へ～煙道体験



AEDが届くまで、ひたすら胸骨圧迫



簡易担架で、わが子を運んでみた

(2) 防犯協議会

防犯協議会は理事会を6回開催し、重要な防犯情報を地域に提供するとともに、6月には防犯委員全体の研修会を実施したほか、夏季及び歳末防犯パトロール、LED防犯灯の更新、交番だより・ポスター等の掲示を行い、校区の防犯運動を推進しました。



出発前に、器材の説明(夏季)



冬の夜道をパトロール(歳末)

(3) 交通対策協議会

交通対策協議会は4月と9月の全国交通安全運動週間に通学路要点立番指導を行うとともに、7月には大阪府夏の交通事故防止運動月間、12月には大阪府年末交通事故防止月間などにおいて啓発活動を行いました。また、迷惑駐車追放、安全施設の修理・新設要望などを通じて地域の交通安全を強化するとともに、交通安全意識の向上に努めました。

(4) 五常っ子見守り隊（下校時の見守り活動）

2006(平成18)年9月から下校時の見守り活動を始めた五常っ子見守り隊は2025(令和7)年5月をもって解散しました。五常小PTAは「ながら見守り」を保護者に呼びかけ、見守り活動を継続しました。また、一部で有志による見守り活動が行われました。

2 あいさつ運動の推進

人と人との繋がり（絆）が安全・安心な地域づくりの基本です。五常校区では地域住民が声をかけ合うキッカケづくりのため、2009(平成21)年度から「元気にあいさつ運動」を実施しています。今年度も引き続き、立ち番指導時に声かけを行い、地域の絆を強めるとともに、防犯力の向上を推進しました。

3 自治会長及び専門組織責任者合同会議によるコミュニティ活動の強化

地域活動の中核となる自治会や地域の福祉、防犯など安全安心を担う専門組織がお互いの活動状況や課題を共有し、五常校区を住みよいまちとするため、6月8日に研修会を実施し、コミュニティ協議会の活動等の理解を深めました。

また、合同会議を2回(9月、2月)開催し、コミュニティ活動を強化するとともに、行政やコミュニティ連絡協議会の情報等を提供しました。

4 自治会、専門組織との連携の強化

自治会協議の場は設定できませんでしたが、9月7日の合同会議において各自治会から自治会未加入問題や役員の選任、行事に関する取組みなどについてアンケートを行い、意見交換をしました。

また、PTAとの協議を6月21日に実施し、お互いの活動内容について理解を深め、五常(夏)祭り、五常文化祭や、とんど祭りの準備などに実行委員として参加していただくなどの協力を得ることができました。

5 四季イベント等の継続と充実

五常の四季を楽しむ行事は、五常校区の住民相互の連帯感や地域への愛着を高めるため、自治会やボランティアの皆さんの協力を得て実施しました。

(1) 第16回煙突山さくらまつり

4月5日に、さくらまつりを開催し、350名を超える参加がありました。

煙突山(妙見山)は校区内で最も高い丘陵で、頂上には旧陸軍火薬製造工場の遺跡である煙突が残っています。現在は上水道の配水施設があるため、日頃は立入が禁止されています。春には敷地内の桜が見事なことから「さくらまつり」を枚方市の戦争遺跡見学会と同時開催をしています。



大煙突の来歴に耳を傾けます



満開の桜の向こうに、はらかな山並み

(2) 第18回五常(夏)祭り

夏の異常な暑さによる熱中症のリスクをさけるため、これまで7月末から8月初旬に実施していた夏祭りを9月27日に実施しました。



11台のキッチンカーは大盛況



初登場の縁日屋台



校庭いっぱい、盆踊りの輪



羨望のまなざしが背中に痛い〜大抽選会

五常小学校運動場を会場に、各自治会から選出していただいた実行委員、PTA 及び地域や専門組織からのボランティアなど約 60 名の皆様の奮闘により、手作りの祭りを開催しました。模擬店は昨年につき、調理をともしないお菓子系や遊び系でしたが、運動場にキッチンカーを 11 台導入して、軽食や飲み物も楽しんでいただきました。また、今回はじめて、射的やスマートボールなどの「縁日屋台」を導入しました。運動場中央には円形舞台を設置し、盆踊りや、お楽しみ大抽選会に歓声があがっていました。

(3) 第 17 回五常文化祭

11 月 16 日に五常小学校体育館において開催しました。午前中は五常小児童のパフォーマンスを楽しむ「G-1 (ごじょワン) グランプリ」、午後は毎年恒例となった第四中学校及び大阪府立香里丘高校の吹奏楽部による演奏会を開催しました。体育館の後方では、カフェコーナーのほか、「五常小をほたるの郷に」実行委員会や学校運営協議会保健人権部会のブース、校区の高齢者施設の方々の作品や五常小児童の平和ポスターの展示をしました。また、体育館の外では学校びか(美化)ボランティアによるワークショップも行われました。



G-1 グランプリ、トップバッターは和太鼓演奏



6年生が描いた平和ポスター



クリスマス飾りやほうき作りのワークショップ



恒例となった吹奏楽のコンサート

(4) 第 36 回とんど祭り

2026 (令和 8) 年 1 月 11 日に予定していたとんど祭りは強風のため中止しました。

前日には、とんど櫓の骨組みとなる竹の伐採や振舞いの 500 食分の豚汁の仕込みを PTA やボランティアの皆さんの協力で準備しました。しかし、深夜から吹き始めた風が未明には 7m/秒になり、午前中一杯継続する予報であったことから、火災や櫓の倒壊防止のため、急遽中止を決定しました。強風のなか五常小まで来場していただいた皆さまのために、家庭科室前の廊下に座席を設け、豚汁を召し上がっていただきました。



豚汁をすすりながら、しばし談笑



お昼前には、もう残りわずか

(5) その他

①第 4 回四中花火フェスタ

開成校区コミュニティ協議会の呼びかけにより 2022（令和 4 年）度から実施している四中花火フェスタの第 4 回目を 8 月 23 日に、開成、山之上、五常の 3 校区コミュニティ協議会、四中地域教育協議会、四中 PTA の共催で開催しました。



花火に浮かぶ、夜の校舎



約 30 分間、打ち上げは続きました

②秋の煙突山見学会

11 月 8 日に妙見山煙突見学会を枚方市と共催しました。煙突は旧陸軍・香里製造所で火薬乾燥に使われたもので、枚方市の戦争遺跡に指定されています。約 120 名の市民が暖かい日差しに恵まれたなか、戦争遺跡の説明に聞き入り、妙見山からの眺望を楽しみました。



春は桜、秋は紅葉の煙突山



八丁目北バス停の「非戦の誓い」碑も見学

6 広報活動の充実

コミュニティ協議会の活動状況や校区内外の状況などの情報を提供するため、広報紙「五常」を4回（第77号6月・第78号9月・第79号12月・第80号3月）各3,300部を作成し、自治会等の協力を得て校区全戸に配布しました。広報紙ではコミュニティ協議会の活動状況や校区内の状況などを紹介するとともに住民生活に役立つ情報を提供しました。

ホームページでも、各種イベントの告知をアップするとともに、四季を楽しむ行事の様子をはじめ、当協議会の活動状況や回覧物などをタイムリーに発信しました。これにより、ホームページでデジタル情報を提供することができ、自治会等の回覧などのIT活用を支援することができました。



2025年度発行の広報紙「五常」



ホームページで、デジタル情報を提供

7 人材育成の取組み

地域づくりや地域防災など、コミュニティ活動を担える「地域リーダー」の育成を目指して、11月に開催された枚方市地域防災推進員育成研修会に2名が参加しました。